

営農普及情報

《秋まき小麦》

畑作

上川農業改良普及センター富良野支所

令和6年 10月17日 発行

秋まき小麦の雪腐病防除について

雪腐病は例年、葉数が十分確保できていないほ場や、融雪が遅い地域を中心に発生が多い状況にあります。以下の点に注意して、雪腐病防除を必ず実施しましょう。

1 防除の実施方法

(1) 防除薬剤 フロンサイドSC 1,000倍 (100ℓ/10a)

(2) 防除時期の目安 10月24日～11月10日頃

早期に防除を実施する場合、残効性が高いフロンサイドを散布しましょう。
フロンサイドは根雪までの積算降水量150mmまで高い残効性が確認されています。

* 連作ほ場、は種時期が遅れたほ場など

紅色雪腐病の発生が懸念される場合 → ベフラン液剤を混用

(3) 混用時の注意点

ベフラン液剤25は、混用により沈殿を生ずる恐れがあるため、
①非イオン系展着剤（ダイコートなど）→ ②フロンサイドSC
→ ③ベフラン液剤25 の順序で混用しましょう。

(4) フロンサイドSCは、なまぐさ黒穂病にも効果があります。

未散布の場合は、必ず散布しましょう。

2 褐色雪腐病多発ほ場における防除方法

対象ほ場【排水不良ほ場、褐色雪腐病常発ほ場】

排水不良ほ場や今春に褐色雪腐病被害のあったほ場の近接ほ場では、上記薬剤に加えてランマンフロアブルを使用しましょう。

(1) 防除薬剤 ランマンフロアブル 1,000倍 (100ℓ/10a)

ランマンは根雪までの積算降水量150mmまで高い残効性が確認されています。

農薬使用前には登録内容や注意事項を必ず確認してください！